

掛合小学校 校報 ましみず

〈第10号〉
平成23年2月発行

人権・同和教育に対する取り組み 公開授業・講演会・人権集会を通して……

1月の公開授業日には、全学級、人権・同和教育に視点を当てた授業を公開しました。

校内では、日々、一人一人の人権を大切にし、教育活動に取り組んではいますが、時に、心ない言葉や乱暴な態度で、友達を傷つけたり、悩ませたりすることがあります。

そこで、授業を公開し、保護者の方にも人権についていっしょに考えていただこうと思ったわけです。授業後は、人権啓発センターより、「人権まもるくん・あゆみちゃん」に来てもらい、人権についてさらに考えを深める取り組みを行いました。また、保護者の皆様には、人権に関する研修会に参加していただき、子育てについての考えを深めていただきました。

また、後日開催した全校集会では、12月に全校で取り組んだ人権についての活動を、全校の前でお互いに紹介し合いました。各学級の代表の子どもが、自分の考えた人権標語を発表しました。これらの活動を通して、お互いを大切にする心が一層育ち、今以上に温かみのある掛合小学校になるようにと願っています。



好天の下、開催したスキー教室!! (5・6年生)

5・6年生の子どもたちが、琴引フォレストパークへ、スキー教室に出かけました。この日は、極寒の合間をぬって、久しぶりの青空。最高のコンディションとなりました。

地域の皆様の中からたくさんの講師の方に来ていただき、午前中2時間、午後2時間、丁寧に指導をしていただきました。おかげさまで、技術もどんどん上達し、大変よい体験となりました。掛合で暮らしているからこそできる、貴重な体験だったと思っています。

大きなけが・事故等もなく、研修できたのは、地域の皆様、保護者の皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。



地域の皆様に支えていただいて……雪の降る中、ありがとうございます!!

今年の冬は、降雪量が多く、子どもたちの登下校・学校生活にも支障をきたすことができました。

そのような中、早朝より、地域の方が国道の歩道の雪かきをしてくださっている場面に出会いました。私が見かけたのは掛合地区の方でしたが、おそらく他の地域でも、多くの方に子どもたちを支えていただいているのだと思います。皆様の心に、大変感激しました。今後も、地域全体で、子どもたちを支えてくだされば幸いです。本当にありがとうございました。



感謝給食会……日頃お世話になっている、給食センターの方や、食材の生産者の方々をお招きして、感謝給食会を行いました。雪で足元の悪い中、10数名の方が来てくださり、各学級に分かれ、子どもたちといっしょに、給食を食べていただきました。きっと、楽しい時間を過ごしていただいたのではないかと思います。多くの方にお世話になって、給食が食べられることに感謝しています。ありがとうございます。



租税教室（6年）……雲南法人会の方に来ていただき、租税教室を行いました。税金の意味を知り、税金がどのようなことに使われているのかを知るよい機会となりました。また、札束の見本を持ってきていただき、重さ・大きさの実感を確かめることができました。

日本の将来を担う大切な子どもたち。一人一人が税に対する確かな感覚を養い、正しい税金の使われ方を意識し、納税の義務を果たせるようになってほしいと思います。

特別支援学級の合同学習会……雲南市内の特別支援学級の子どもたちが集まって、合同学習会を行いました。この日は、みんなでカレーを作って食べたり、ゲームをしたりしました。いろいろな学年の子どもたちが協力して作ったカレーは、さぞかしおいしかったことと思います。また、いろいろな学校から集まることで、お互いを理解しあい、つながりを深めることができるのではないかと思います。今後も、楽しく交流ができるように願っています。



避難訓練……雲南消防本部の方からのご指導を受け、地震を想定した避難訓練を行いました。まずは机の下に身を潜め、地震が治まるまで待ちます。その後、すばやく逃げるわけですが、この日は早く避難できたように思います。その後、煙の中を逃げる体験もさせていただきました。「天災は忘れた頃にやってくる！」の言葉を忘れず、十分気をつけていきましょう！！

ベルギー・オランダで生活して学んだこと……<その4・「トイレの神様！」>

ベルギー・オランダで、トイレに行きたくなったら大変です。公衆トイレが少ないからです。そうすると、お店やデパート、スーパーなどで探すわけですが、それもまた大変です。特に、ファーストフードのお店やカフェのようなところでは、注文するところと同じフロアには、トイレがないことが多いのです。一つ上の階、または下の階にある場合が多く、初めてだと分かりづらいものです。ようやくトイレを見つけたと思ったら、そこには、こわ〜い？おばちゃん！！

おばちゃんは、トイレの前に小皿を置いて、番をしています。つまり有料なのです。日本円で、30〜60円程度の使用料を払います。慣れない日本人には不思議な感覚ですが、使用料は「いつもトイレをきれいにしてくれてありがとう！」という意味のチップなのです。おばちゃんは、「トイレの神様」(by:植村花菜)なのかもしれません。チップを渡せば、にっこり笑顔で、「メルシー」・「ダンキュー」(ありがとう)などと言ってくれます。

こんな風景から「ふるまい向上」を感じる日々でした。「きれいにしてくれてありがとう」、「きれいに使ってくれてありがとう」とお互いに、体も気持ちもすっきりする瞬間でした。

ところで、男性用トイレを見ると、中にハエがとまっています。「うわぁ〜っ」と思いきや、ハエの絵でした。ハエをめがけて用を足すことで、便器からこぼさないようにするための大切な一工夫なのでした。トイレにも、ユーモアのセンスあり！！(山根 毅)

本校では、ホームページを開設しています。日々のお子さんの様子を更新していますので、ご覧いただければ幸いです。アドレスは下記のとおりですが、「掛合小学校」でも検索できます。

www.city.unnan.shimane.jp/kekeya-sho/